

議会だより



色鮮やかな花々に出迎えられ(たいゆう緑花園)

9月1日、たいゆう緑花園パノラマフェスタが開催されました。約1.3ヘクタールの広大な敷地には、サルビア・マリーゴールド・目々草などの花々が咲き誇り、訪れた人の心を和ませました。

平成25年第4回9月横手市議会定例会が
8月26日から9月20日までの26日間の会期で開催されました。

もくじ

9月定例会の概要.....2~3

会派代表質問.....4~5
5つの会派がさまざまな課題について質問しました。

一般質問・議員政治倫理条例を制定
.....6~10

市議会のあゆみ.....11
この4年間の主な出来事をご紹介します。

常任委員会・分科会審査報告.....12~13

決算特別委員会分科会報告 Q&A...14~15

友好都市訪問.....16

横手かまくらFM 教えて! 横手市議会

毎月 第2・4月曜日
午前10時45分~

11時 (15分間)

※再放送は翌火曜日 午前7時30分~

77.4MHz
だよ!!



好評放送中!! 市議会HPでも聴けます!

9月定例会

市議会議員政治倫理条例などを可決

8月26日から9月20日までの26日間の日程で、9月定例会が開催されました。

※9月定例会の録画映像は、横手市ホームページの議会のページ（市議会トップページ↓議会広報↓市議会中継（録画）↓平成25年9月定例会）でご覧いただけます。

9月定例会のあらまし

定例会初日は、五十嵐市長が新市2期目の任期を振り返るとともに、横手「アマンダ交通、よこて食・農・観」deまちづくりプロジェクトなどの新たな施策の取り組みや、平成25年度事業の進捗状況などについて所信説明がありました。

その後、人事案件7件、報告案件5件、議案31件が上程されました。このうち、雄物川地区統合小学校の建設にかかる工事請負契約の締結議案3件については、この日のうちに採決が行われ、全会一致で可決されました。その他の議案については、4つの常任委員会と一般会計予算特別委員会に付託して審査が行われました。

9月3日は会派代表質問、4日からは一般質問が行われ、5つの会派の代表と9人の議員が登壇し、当局と活発に論戦しました（詳細は、4〜10ページに掲載）。

また、6日には議案2件が上程されました。最終日の本会議では、各委員長から委員会の審査結果の報告（詳細は、12〜15ページに掲載）を受けた後、議案などの採決が行われました。

採決の結果、合計25会計の平成24年度決算を認定、市長提案の議案30件を可決、請願1件と陳情1件を採択、請願1件を不採択としました。また、議会側からは、市議会議員政治倫理条例や、常任委員会の数を4つから3つにする委員会条例の改正案など6件の議案が提出され、いずれも全会一致で可決されました。

人事

人権擁護委員候補者に、次の7人を推薦することに決定しました。（敬称略）

- 清水 京子（横手）
- 前澤 弘子（横手）
- 七尾 喜美代（横手）
- 松井 敏博（横手）
- 狩野 和枝（雄物川）
- 高橋 純一（十文字）
- 高橋 典雄（大雄）

平成25年度一般会計補正予算

主な補正内容は、県と市の機能合体に伴う建設部の県平鹿地域局移転等にかかる経費や、7月の豪雨災害等にかかる農地農業用施設・道路・河川の復旧費用、スクーパバス3台の購入費用などで、補正額は14億3367万円です。

平成24年度決算

9月18日の決算特別委員会では、各分科会長報告の後に総括質疑が

会派・議員名	賛否一覧表（平成25年9月定例会）																									表決数		議決結果								
	市民の会					新風の会			新政会			ニューウェーブ			日本共産党			さきがけ			公明党		賛成	反対												
案件名	佐々木誠	菅原恵悦	齋藤光司	奥山豊	阿部正夫	高橋勝義	田中敏雄	木村清貴	佐藤誠洋	高橋聖悟	小野正伸	土田祐輝	遠藤忠裕	佐藤清春	佐藤忠久	青山豊	小沢秀宏	堀田賢逸	佐藤徳雄	齊藤勇	立身万千子	鈴木勝雄	寿松木孝	播磨博一	佐々木喜一	佐藤功	塩田勉	土田百合子	賛成	反対						
①認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3	認定		
②請願25第4号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3	23	不採択	
③請願25第5号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	2	採択

※佐藤清春議長は採決に加わりません。
※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決されました。

○：賛成 ●：反対 無：無効 欠：欠席

- ①認定第1号……平成24年度横手市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ②請願25第4号…「稲作記念館」を開設する事について
- ③請願25第5号…「静町上小屋幹線」道路拡幅について



■ 議長らが市長へ要望 ■

9月18日、佐藤清春議長、高橋勝義副議長、佐藤誠洋産業経済常任委員長が、「果樹防除薬剤購入経費助成」の継続と助成率の維持について、市長へ要望しました。

この助成は、平成22年度から3年連続で見舞われた豪雪による果樹被害の樹園地再生を支援しようと、販売目的で栽培している果樹に使用する防除薬剤購入経費の一部を、市が助成しているものです。助成は、平成23年度から行われていますが、豪雪のみならず、暴風等の異常気象にも見舞われ、産地復興はなかなか進まない状況にあることから、議会では平成24年度の助成率15%を維持しながら、来年度以降も継続して助成するよう要望しました。



佐藤議長らが市長に要望書を提出

議会提出の主な案件

- 横手市議会議員政治倫理条例の制定
・詳細は、10ページに掲載。
- 食のまちづくり事業について
・土田 祐輝 委員
- 空き校舎の民間活用について
- 産地収益力向上促進事業について
・齋藤 光司 委員
- 産地収益力向上促進事業について

- 横手市議会委員会条例の一部改正
・常任委員会の構成を「総務文教」「厚生」「産業建設」の3つとするものです。
- 横手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
・青少年問題協議会、民生委員推薦会、都市計画審議会の3つについて、議員が会の委員として出席した際に支給される報酬を受け取らないとするものです。
- 地方税財源の充実確保を求める意見書

訂正とお詫び

議会だより第33号（平成25年7月15日号）11ページ総務文教常任委員会の委員会審査報告「自治基本条例について」の2つ目の問いの字句に誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫びいたします。

（誤）市長の責務・責任
（正）市民の責務・責任

・社会保障関係費などの財政需要が増加する中で、住民サービスやまちづくりを安定的に行うため、関係行政庁に財源確保を要望するものです。

会派代表質問が行われる

5つの会派がさまざまな課題等をたず

9月3日、会派代表質問が行われました。
 会派代表質問は、各会派が日ごろの活動を通して見えてきた課題等について、市長や教育長にその考えをたずねたり、政策を提言したりするものです。今定例会では、5つの会派が質問を行い、熱弁をふるいました。



市民の会

質問者 田中敏雄 議員

■食・農・観 de 未来づくり、地区の選定に無理はないのか将来展望を問う

問 選定場所の市民の認知度、来訪者の交通の利便性に難点はないのか、観光面での満足度は。

答 機会をとらえて説明している。交通量は少ないが、わざわざ来てもらうには観光面を視点を、三吉公園と温泉交流施設、眼下に雄大な雄物川の流、東山に広がる横手盆地の眺望と、すばらしい自然環境というロケーションで適地と判断した。

問 14・2億円は膨大な投資だ。費用対効果を勘定して、ここでの営業採算に不安はないのか。

答 確かに多額ではあるが、投資効果は極めて高いと判断している。絶対成功してあらゆる業種にプラスの大きな影響を与える、先導的な役割を果たしていく。必ずいけるものと思っている。

問 営業目標は取らぬ狸の皮算用。この試算でいいのかが。雇用の確保については。

答 運営会社の形態と出資について協議中だ。新しい雇用は確保できる見込みだ。



にぎわいと評判のいい道の駅十文字

さきがけ

質問者 塩田 勉 議員

■市政の検証について

問 合併後、8年間の経常収支比率の推移と今後の見通しについて市長の所見を伺う。

答 人件費削減や行政改革の推進の他、大型ハード事業へ有利な起債を活用するなど、効率的な事業費執行に努めてきたことなどにより、財政の硬直性を示す経常収支比率は、合併当初の95%から平成24年度決算で86・4%まで改善してきている。人口減少や高齢化の進行に伴う今後の標準財政規模の縮小と歳入の減少が予想される中で市民へサービスを提供していくため、財政調整基金等の取り崩しや合併特例債、過疎債の活用、行政改革の一層の推進の他、事業の選択と集中などを図りながら、これまで以上に身の丈にあう慎重な行政運営に努めていかなければならないと考える。



今年4月に開校した横手北中学校（中学校統合事業）

その他の質問

- 市政の検証について（クリーンプラザよこて、大沢浄水場、学校統合等について）
- 人口減少について
- 小学校の英語事業について
- 横手マラソン大会の創設について

新政会

質問者 佐藤忠久 議員

■「スポーツ立市よこて」のさらなる充実に向けて

問 「スポーツ立市よこて」を充実するためには、一般財団法人横手市体育協会の協力が不可欠であり、今夏独立した体協にどのような支援を考えているか。また、スポーツイベントの開催による観光との連携について伺う。

答 今般、体協より要望のあったスポーツ施設の指定管理者制度の早期導入やスポーツ振興基金の創設を踏まえ、具体的に体協への支援のあり方について協議を進めていくこととしている。共にスポーツ立市をより充実させるための重要なパートナーとして、積極的なお力添えを期待したい。

また、スポーツを通じたまちづくりの大きな目標に、観光振興や地域経済の活性化も含まれる。

ニューウェーブ

質問者 佐藤徳雄 議員

■アベノミクス効果をチャンスと捉え、積極的な企業誘致活動を！

問 世間ではアベノミクス効果で大企業の好景気が報じられているが、地方都市に好影響が及ぶのは数年先と思われる。今こそ、こちらから積極的な誘致活動を行うべきだ。県知事も若者の雇用促進を急いでいるので、それに乗った方がよい。

答 安倍政権の経済政策により、国の経済は改善しているが、地方経済や中小企業にはまだまだ波及していないと実感している。また、全国の求人倍率は上昇し、横手市においても回復基調にあるが雇用の実態は依然として厳しい。

自動車産業は、トヨタ自動車や東北での生産拠点化を着実に進展させているので、関係する部品メーカー、いわゆる二次・三次サプライヤーの立地を目指して県との連携により企業誘致活動を推進していく。

日本共産党

質問者 鈴木勝雄 議員

■横手市農業振興対策を問う

問 産地収益力向上対策は、面積拡大と所得率5%アップを目標に支援を推進するものである。21年度からこれまでの重要作物への支援等具体的な対策について問う。

答 直接的な支援策である「産地確立緊急対策事業」(秋田を元気に農業夢プラン実現事業)「えだまめ日本一産地条件整備事業」等を実施し、さらに重点作物等には堆肥へ支援助成し、推進してきた。

問 活力ある農業の振興については、農業法人をはじめとする6次産業化で商品開発が重要と思われる。これについて市長は、九州屋への職員派遣や道の駅十文字、仙台市などに設置したアンテナショップの直売等が活力ある農業として説明している。このことは、一部の農家に限定されるのではないかと懸念せざるをえない。もっと幅広くやる気のある農家が参加できる仕組み、大口こそ活力ある農業になると考えるがどうか。



スポーツ立市宣言式典

平成26年度より2力年の事業計画を定める、スポーツ振興計画を現在策定中であり、横手コンベンション協会と連携し、官民の垣根を越えて、具体的な目標と事業のあり方を検討していきたい。



企業の立地が待たれる県第二工業団地

その他の質問

- よこて食・農・観 de 未来づくりエリアについて



仙台市の直売所「うめっす菜」

答 8月に市長が首都圏に出向き販促活動を行った。大口品目はもちろん、小口品目を含めた販路拡大に、JAなど関係団体と連携し取り組む。

横手市における社会保障施策の到達点と課題について

立身 万千子



問 子どもの医療費無料化を中学生まで拡充できないか。
答 市単独分の支出が予想以上に多く、今後、県の動向を見て検討する。

問 国民健康保険の医療費にかかる一部負担金の減免について市民への周知徹底を望む。
答 昨年度は申請4件、決定0件。役所や診療窓口と連絡調整を密にし、わかりやすい説明をしていく。

問 義務教育における就学援助を生徒会費とPTA会費にも適用することを望む。
答 平成26年度から適用する。部活動費は一律にならないので支給を断念する。

問 学校給食で、アレルギー対応の充実を図る対策は。
答 アレルギー調査票を全保護者に記載してもらい、各学校に対応委員会(校長・教頭・給食センター・栄養教諭・養護教諭・学級担任)を組織し学校で講習会を開催している。

問 食材の放射能測定は今後重要と考えるが方針は。
答 これまで月平均43件測定。セシウムは不検出。現在建設中の給食センターには測定器

は設置せず、アレルギー対応室として使用する。

問 国の介護保険改訂の動きに照らしても、今後高齢者を在宅で介護することがおこなたになると予想されるが、市の方針はどうか。
答 現在、在宅介護のモデル事業を推進中であり、関係諸機関とのネットワークをさらに強めて対処していく。

問 学齢期の健康を守る立場から、小学生のスポーツ少年団加入率と、練習時間や終了時刻、休養日数の実態を問う。
答 加入率は37%(76団体)。詳細は把握していないが、保護者や指導者の過熱はある。しかしあくまでも自主活動を基本とする。



建設中の横手学校給食センター

建設中の横手学校給食センター

市長の4年間の農業施策について問う

播磨 博一



問 市長はこの4年間の振り返って、農業振興にどんな思いでどう取り組んできたのかを伺う。
答 活力ある農業の振興については、付加価値を高める取り組みを続けることで、後継者が育つ農業、新たな雇用が生み出せる農業を目指し、各施策に取り組んできた。そのベースとなる「食と農からのまちづくり」では横手市産農産物の市場価格と競争力を高めるための事業を推進してきた。22年度からの5年間で販売額を5%以上増加させる目標を掲げた産地収益力向上対策は、果樹の豪雪被害などもあり、目標達成は困難となっている。今後実効性のある収益力向上プログラムへの見直しを行う。担い手支援では、基盤整備やカンントリーエレベーターなどの環境整備を進めながら、農地の利用集積・法人化支援など経営体強化に努めた。また、市単独で「先駆け農業応援事業」を創設し、先進的な取り組みを行う生産者の掘り起こしにつなげていきたいと考えている。

問 9月から電気料金の値上げがあるが、市全体でどのくらいの負担増になるか。またその対策と、市民サービスへの影響はあるのか。
答 年ベースで約1億円の増高を見込んでいます。また、水道事業、下水道事業で合わせて2000万円、病院事業では1300万円が見込まれる。対策としては、既に3月から節電を呼びかけており、契約の見直しや街路灯・照明器具のLED導入などにより、一層対策を進めていく。市民サービスへの影響については、現段階では各種利用料の値上げ、施設の利用制限などは考えていない。



高品質米の出荷が期待される新雄物川カンントリーエレベーター

保育所の民営化は地域密着で!!

齋藤 光司



● 保育所の民営化について
問 保育所は、地域固有の有形無形の財産であり、これからも、地域の元氣、維持のためにも、資本も人も地産地消こそが本筋である。地域人材の登用育成こそが行政の責務であり、多様な運営形態で競わせるべきではないか。
答 雄物川地域統合保育所の運営主体の公募要件の案として、市内で保育所を運営している社会福祉法人という条件を示したが、選考に際しては地域に根ざした保育が実践できるかという点も一つの視点として選考基準を検討する。

● 特養の無償譲渡について
問 譲渡9施設で、55億2千万円、残存帳簿価格で、34億1千万円の無償譲渡である。譲渡しても、市とのかかわりや要望が、切れては困る。どう担保するのか。
答 譲渡後の施設運営については、適切な運営管理や介護サービスの向上について、市の指導に従うことを柱とした運営協定書を締結する。

● 5千万円以上の大規模修繕は、譲渡してから5年以内
問 譲渡後の施設運営については、適切な運営管理や介護サービスの向上について、市の指導に従うことを柱とした運営協定書を締結する。



公立の十字保育所

1回限り、2分の1補助となっている。修理の必要性の是非を含め、どのような形で、誰が判断するのか。
答 老人福祉施設の大規模修繕に対しては、国・県の補助制度がない。市の見積もりは当初10億円であったが、応募申請書では、6億5千万円に圧縮された申請がなされている。市の専門部署と連携しながら、適切に判断をしていく。

その他の質問
①空家対策 ②食・農・観
de未来事業 ③農業振興策
④雨水対策 ⑤社会保障改革
⑥増田の内蔵 ⑦総合雪対策
⑧河川敷地内の農地保全

「芝生」による地域活性化について

青山 豊



「芝生」は子育て、教育、環境保全における効果や新産業創出等の可能性を秘めている。
問 保育園・幼稚園の園庭や小中学校の校庭・グラウンドの芝生化について見解を伺う。
答 園庭については公立保育所の芝や土それぞれのメリット・デメリットを確認し、今後の環境整備の際には芝生活用の可能性について検討したい。小中学校の共用グラウンドの全体的な芝生化は難しいと思う。

「芝生の産地」としての研究を行う用意はあるか?
答 横手市は商品としての芝生生産は難しい地域で県内でも取り組み事例はない。需要面でも飽和状態にあり、主産地の茨城県でも栽培面積はピーク時の半分だ。産地となるためには芝の品種改良や生産者の育成、生産管理の組織づくりをしながら販売先の開拓等、さまざまな課題の解決が必要だ。今後、芝の需要が増えた場合を想定し、横手市の芝生産の可能性について専門機関に相談する。



悪天候の中、芝生の上でミニゲームを楽しむ子どもたち

● 災害時における地域の人材
問 5月のチャレンジデーにおいて地域を熟知しているスポーツ推進員が参加率アップに貢献したという事を知った。このような人材は災害時においても活躍できる。地域に精通した人材を幅広く探し出し、協力いただく体制をつくれな
答 自主防災組織は高齢化、リーダー不足といった問題を抱えている。そのようなそれぞれの事情と地域性を考慮した組織化は必要で、そのために地域の人々の「顔」を知っている人材の把握を行い、どのように防災体制をつくっていくかの検討を進める。

「芝生」は子育て、教育、環境保全における効果や新産業創出等の可能性を秘めている。

奥山 豊

市営温泉施設の再編について



開設20周年を迎えた「ゆとりおん大雄」。時代の変化に対応し、経営努力を重ね、経営内容の良い施設であった。しかし、8月1日の行政課題説明会で示された担当課の方針では、「温泉・宿泊事業の廃止」というあまりにもひどい内容で、到底認められない。ゆとりおん大雄は、旧大雄村民の憩いと交流の場であり私たちの心のよりどころである。当時の大雄村の一般会計25億円という財政規模の中で、総工費は12億円。そして、年間1億円ずつの事業費償還を続け、合併前にすべて償還を終えており決して迷惑施設ではない。また、事業主体である大雄振興公社は「大雄ホップ茶」の生産加工販売で実績を上げており、雇用の創出と産業振興に加え、ホップ生産地としての横手市のイメージアップにも貢献している。スポーツ立市宣言をした横手市において、各種大会や合宿の誘致を進める上で、野球場との一体性によるゆとりおん大雄での団体宿泊の受け入れ先として、事業を継続して



市民の憩いの場「ゆとりおん大雄」

いくのは当然のこと。1〜3全館を大雄振興公社の指定管理とし、特産品開発部の事務所として活用することも提案したい。温泉・宿泊事業の継続に市長の政治的判断を求める。行政課題説明会にご意見を伺うためのものであり、直ちに見直しまたは廃止をするものではない。今後は、利用者を増加する対策や料金の改定について計画を詰めてまいりたい。大雄地域にとつて身近な集會交流の場として欠くことのできない施設であり、できる限りその機能を継続してまいりたい。

土田 百合子

市民生活道路の整備推進を



赤坂字荒沼地区の浸水対策について。市道朝日が丘中央線については、国道107号から南側約320メートルの区間について改良予定をしている。今年度は、80メートルの区間の水路改良と沈下した道路面のかさ上げ工事を発注している。平成28年度中の全区間完成を目指し、引き続き整備を進めていく。市道境町中央線の拡幅について。関係機関との協議も整い今年度より着手している。現在、測量設計業務を決め、地元関係者へ事業説明会を開催する予定である。計画では県道金沢・吉田・柳田線から県道大曲・横手線まで約1300メートルの区間を歩道整備するもので、県道大曲・横手線の歩道と一体となった安全な通学路の確保を図る。子どもの病歴などを記入する緊急時対応の「子ども安心カード」作製を提案したい。カード作製にあたってはかなりの個人情報が含まれるため、保護者の同意を求めて



土のうを積んでいる荒沼地区

行うなど十分な対策を講じ、検討していく。胃がん検診受診率の向上のために「胃がんハイリスク検診」実施を提案する。特定健診時に行う血液検査の採血を一部利用して「ピロリ菌とペプシノゲン」の数値を調べ、胃がんになりやすいかどうかのリスクを判断する検診を実施してはどうか。国ではがん検診のあり方に関する検討会を立ち上げたところである。ピロリ菌抗体検査やペプシノゲン検査についても議論することから引き続き国や他の自治体の動向などを注視し、対応していく。

寿松木 孝

課題はコミュニケーション



●市政運営について 五十嵐市長は旧横手市長から通算で17年目と長期に渡って舵取りをされてきたが、その豊富な経験の中から市政運営で最も苦労されている部分をご教授賜りたい。合併前と合併後では市政の運営状況が激変し、合併後の2期8年は、質も量も広がりも深まりも全く違うものと感じる。その意味からは、非常に中身の濃い8年であり、さまざまな課題に向き合ってきたが、その中で一番苦労した事は、一言で表現すればコミュニケーションだった。庁内での意見集約、それに至るまで市民の皆さんと担当との意見交換など、また、議会の皆さんへの説明などあらゆる場面でコミュニケーションがスムーズに取れず、それらの深まりが足りず難儀してきた事の連続だったように感じる。●西部地区多機能型直売所構想について この事業の最も大きな懸念事項は、構想の中心となるレストランのシェフの選考と

冬場の施設運営と思われるが、その対応について伺う。ご指摘の通り、地場産品を活用したレストランのシェフ選考は、事業成功のカギを握る部分であり最も力を入れるべきと考えている。料理情報誌での公募や業界からの推薦、料理専門学校からの情報収集など、さまざまなルートからの情報を元に、最良のシェフを確実に確保するために最大限の努力をしていく。設立予定の新会社の設立協議会でも協議を重ね、平成26年度中にはシェフが事業に参画できるようなスケジュールを考えている。雪国の当市では、冬場の施設運営は課題の一つとなり、特に冬場の施設の集客力が落ちることは、近隣施設からもうかがえることから施設運営には綿密な計画が必要と考える。対策としては、食品加工に力を入れ収入の確保と雇用の確保を目指す。また、雪国の遊びや体験は観光資源と考え、施設運営に生かしていきたい。

住民の意志が反映された庁舎改築を！

齊藤 勇



十文字庁舎の建設検討会議の結論等を受けて、今年度は設計業務になっているが、現在の進捗は。付帯意見にある文化センター機能と保健センター機能をどう組み込むか、さまざまな角度から試算検討している。基本構想の設計図に地域防災機能確保とあるが、災害時の避難には緊急会議室、自家発電室、その他で200平方メートルは狭すぎる。被災地岩手県金石市の教訓を生かすべく十分な面積確保を。近隣に学校や道の駅があるので対応できるものと思う。5億円の予算（設計、解体含む）では同額の山内庁舎以下のものになりかねない。建設検討会議での委員と当局とのやりとりの中で、「文化機能確保と十文字の基本構想達成を目指すとなれば5億円以内の予算は、あしかせ、にならないか」とある。よって、市民の切なる願いにこたえるためにも5億円をいったん取り下げ、土台から積み上げ方式するべきでは！現在のところ5億円を



りんごのわい化栽培7、8年もの（増田町亀田地区）

えるつもりはない。●果樹の豪雪被害への支援を 市と農家の努力もあって樹木の回復が6割と聞くと、それこそ生産量や価格の低迷、また、アベノミクスで資材の高騰が経営に直結だ。経費高の農業助成延長を図れないか。また、10年以上の場合の未収益期間の生活支援策として、マル農貸付制度は限界がある。市独自の保障をかんがみた救済制度が必要だ。農業助成延長は慎重に取り組む。また、未収益期間の問題は他作物、他品種の転換も含め、また同時に人・農地・夢プラン事業をJAと連携強化で対応していきたい。

統合後閉校になった校舎の再利用について

小沢秀宏



問 閉校後の校舎の再利用に
関し、地域の要望が優先と考
えられているようだが、その
期限はいつまでと決めている
のか。金沢小・中学校につい
て、具体的な要望についても
伺う。

答 期限は定められていない
が、今後は一定の期限を設け
たい。金沢小学校については、
地元で活用したいとの話があ
る。金沢中学校については、
民間の会社からの声があるが
具体的には決まっていない。

問 国道107号線、雄物川
町大沢バイパスについて、昨
年からの進捗状況はどうなっ
ているのか。

答 県に確認したところ、現
在は用地鑑定、事業認定のた
めの準備作業中であり、市と
して早期に進められるようお
願いしているところである。

問 平成22年6月に関係地域
の90%になる戸数から請願さ
れ、採択された市道陸合造山
線防雪柵設置について、再々
の報告後の具体的な進捗状況
はいかがか。特に交通障害の
著しい箇所は決定されたのか。
答 当該路線のうち上西野一



改良が待たれる国道107号線

閉校した金沢中学校

造山間全線に防雪柵を設置す
るためには多大な事業費を要
するため、冬季における道路
状況を調査。警察・地域の皆
さんと交通障害の著しい箇所
の特定の把握に努め、部分的
な整備に向け、早急に事業手
法等の検討をし、実施時期を
考えていく。

議員政治倫理条例を 制定しました!!



本年3月定例会において議会改
革推進特別委員会より、議会改革
推進に関する事項の調査結果が報
告されました。その中で、議員の
政治倫理について「政治倫理の確
立と向上に努めていくには、その
指針となるべきものが必要であり、
政治倫理条例を策定すべき」とい
う委員会の結論が示されました。
政治倫理条例策定特別委員会は、
その報告を受けて政治倫理条例の
策定を目的として、同定例会にお
いて10人の委員構成で設置されま
した。約半年を期限として調査・
検討を行い、9月定例会最終日に



条例案を上げ、全会一致で可決さ
れました。

この条例は、横手市議会議員の
政治倫理に関する基本となる事項
を定めることにより、議員の政治
倫理のより一層の向上に努め、市
民に信頼される市議会づくりを進
め、もって市政の健全な発展に寄
与することを目的としています。

もしも議員が政治倫理基準に違
反する疑いがあると認められたと
きは、審査請求を行うことができ
ます。市民の皆さんが請求する場
合は、選挙権を有する者の100
分の1以上の連署が必要です。審
査請求を受けると、議会内に政治
倫理審査会を設置して審査を行い、
審査結果は市議会だよりやホーム
ページで公表していきます。

なお、本条例は、他市議会の条
例の分析を踏まえ協議した結果、
シンプルで分かりやすい構成にし
ています(条文は市議会ホーム
ページ参照。ホームページ番号0
00016282)。(小野 正伸)

市議会のあゆみ

新横手市が誕生して8年が経過しました。2期目となる平成21年10月
から平成25年10月までの主な出来事を振り返ります。

平成21年(2009)

- 選挙投票日** 10.18 平成17年の選挙から定数4人減となる定員30人の市議会議員選挙。即日開票。
- 11月臨時会** 11.10~11.19 議長に石山米男議員、副議長に塩田勉議員を選出。
- 12月定例会** 11.30~12.18 横手市地域づくり協議会設置条例などを可決。浄水場整備調査特別委員会(委員15人)を設置。佐藤耕一氏、堀田賢逸議員の監査委員選任案に同意。



横手黒毛和牛の販売促進活動

平成22年(2010)

- 3月定例会** 3.1~3.25 南庁舎駐車場へのプレハブ増築関連予算を削除した一般会計当初予算の修正案を起立多数で可決。市の組織体制を6部から7部にする「行政組織条例改正案」を否決。鈴木信好氏の副市長選任案に同意。
- 6月定例会** 6.7~6.25 対前年度比5.4%増の国民健康保険税改正案を可決。スマートインターチェンジ整備促進議員連盟を立ち上げ。
- 8月臨時会** 8.16 西部地区中学校統合事業(横手明峰中)の工事請負契約案を可決。
- 9月定例会** 8.30~9.24 議会基本条例の制定に向けて議会改革検討特別委員会(委員16人)を設置。
- 12月定例会** 11.25~12.15 浄水場整備調査特別委員会の最終報告。新ごみ処理統合施設について議論が白熱。



横手市議会情報番組「教えて!横手市議会」の収録風景(横手かまくらFMにて)

平成23年(2011)

- ※平成23年6月1日、地方議会議員年金制度廃止。
- 1月臨時会** 1.21 一般会計補正予算案、除雪費の追加補正額を2億円から3億円で訂正し可決。
- 3月定例会** 2.28~3.19 豪雪被害の対応を問う一般質問が多数。11日の常任委員会の最中に東日本大震災発生。佐藤良吉氏の副市長選任案に同意。Y²ぷらざの修繕費を削除した一般会計補正予算の修正案を可決。
- 4月臨時会** 4.19
- 6月定例会** 6.13~6.30 石山米男議長の死去に伴い、議長に塩田勉副議長、副議長に奥山豊議員を選出。
- 7月臨時会** 7.25 あいのの温泉鶴ヶ池荘の宿泊棟の取得に関連した議案を可決。
- 9月定例会** 8.29~9.22 議会改革検討特別委員会が調査結果の報告を行い、1年間の審査を終了。
- 11月臨時会** 11.10 議長に佐藤清春議員、副議長に高橋勝義議員を選出。T P P交渉参加に反対する決議を可決。
- 12月定例会** 11.28~12.14 菅原恵悦議員の監査委員選任案に同意。空き家等の適正管理に関する条例を可決。



平成24年7月、横手市議会マスコットキャラクター「しらとり」議員誕生

平成24年(2012)

- 3月定例会** 2.27~3.19 議員提案による「東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議」を全会一致で可決。
- 4月臨時会** 4.23 4.3~4発生した暴風災害に係る各種支援事業を盛り込んだ一般会計補正予算案を可決。
- 5月臨時会** 5.30 あいのの温泉鶴ヶ池荘の源泉改修経費などを計上した一般会計補正予算案を可決。
- 6月定例会** 6.11~6.27 横手市議会基本条例を可決。議会改革推進特別委員会(委員10人)を設置。
- 7月臨時会** 7.19 7.5~6の豪雨災害に伴う復旧費用を計上した一般会計補正予算を可決。
- 9月定例会** 8.27~9.20 初の会派代表質問を実施(5会派)。
- 12月定例会** 11.26~12.12 市の介護福祉施設の指定管理期間延長を可決。



平成24年度から始まった議会報告会

平成25年(2013)

- 3月定例会** 2.25~3.21 議員提案による初の政策条例「スポーツ立市よこてでまちを元気にする条例」を制定。議会改革推進特別委員会が調査報告を行う。倫理条例策定特別委員会(委員10人)を設置。
- 4月臨時会** 4.15 市長の給料を減額させるための条例改正案を可決。
- 6月定例会** 6.10~6.26 議員定数条例の改正案を賛成多数で可決。これにより次回の選挙から定数は26人に。自治基本条例を可決。
- 9月定例会** 8.26~9.20 議員政治倫理条例を可決。
- 選挙投票日** 10.20 平成21年の選挙から定数4人減となる定員26人の市議会議員選挙。即日開票。
- 任期満了** 10.22

厚生

常任委員会

Q 子ども子育て会議設置条例について。
A 子ども子育て会議は、子ども子育て関連3法の成立に伴い、保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本認識の下に、幼児期教育、保育、地域の子ども子育て支援を総合的に推進することから、それにかかわる全ての人々が参画、関与することができる仕組みとして設置するものである。会議委員としては、有識者、関係者はもちろん、子育てサークル、園児保護者にも公募をかける予定だ。今後は、子ども子育て支援

事業計画を策定するので、その内容についてもこの会議で話し合っていく。 **Q 特別養護老人ホーム設置条例について、施設の無償譲渡に至る経緯について伺う。** **A** 特別養護老人ホーム等の運営には指定管理者制度を導入してきたが、原則5年という指定管理期間が定められているため、人員管理や施設管理などの長期的展望ができないといった問題を抱え、それがサービスの低下に繋がる可能性があった。このようなことから、常時サービスを提供している老人福祉施設の

運営に指定管理者制度はそぐわないという考えの下、譲渡の方向で動いてきた。 **また、これまでの指定管理期間に市では3億円を超える修繕費を支出しており、このまま継続した場合、修繕にかかる市の財政負担は相当な額になる。さらに無償譲渡でなければ、建設時の補助金の返還が生じるといふ事情もある。現在、指定管理施設の運営は良好で、民間に任せても問題ない状況と判断している。** (高橋 聖悟)

無償譲渡施設と法人

無償譲渡施設	無償譲渡先の法人
特別養護老人ホーム	
鶴寿苑	社会福祉法人 相和会
憩寿園	社会福祉法人 横手市社会福祉協議会
シルバードームいきいきの郷	社会福祉法人 ファミリーケアサービス
すこやか大雄	社会福祉法人 ファミリーケアサービス
平寿苑	社会福祉法人 横手市社会福祉協議会
雄水苑	社会福祉法人 横手市社会福祉協議会
デイサービスセンター	
康寿館	社会福祉法人 横手市社会福祉協議会
ふるさと館	社会福祉法人 相和会
雄風荘	社会福祉法人 横手市社会福祉協議会

産業経済

常任委員会

●平成25年度横手市一般会計補正予算(4号)について。
Q 6款・農林水産業費では、それほど多くないかもしれないが、今後、農家ではないが農業をやりたいという人が出てくる可能性がある。その場合の対応策はあるか。
A 人・農地プランの青年給付金制度や農業経営テイクオフ支援事業などの事業を組み合わせて、就農を希望する方に合ったメニューを提案していきたい。
Q 新規就農希望者から農地のあっせん等について相談を受け

る窓口が市にあるか。
A 農地取得の相談は、農業委員会で行っているが、農業に新規参入される方に対して、農地の取得から営農まで一方的にサポートする体制は不十分と考えている。青年就農給付金などの新たな制度もあるので、経緯を踏まえて体制の整備について検討したい。新規就農者を人・農地プランの中に位置づけることで農地を集めることも考えられる。
Q 7款商工費では、最近、小さいながらも新たな企業が横手

に進出してきている。今後も何件かそういった企業はあると思われるが、これまで企業訪問してきて手ごたえはどうか。
A 以前は飛び込みで訪問しても受け付けてくれない状況だったが、最近はそうでもない。日本経済が上向いているので、前より投資意欲が出てきたように思う。横手でも、最近空き工場を探していた企業が新規に工場を建てるケースが見られる。優秀な人材がいる、交通の便も良いという認識をもたれているようだ。(高橋 勝義)



第二工業団地に建設中の新規企業

建設

常任委員会

●損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解に関する事について。
Q 損害賠償が市に請求されるまでの経緯について伺う。
A 碓大橋の補修工事の積算に誤りがあることがわかった時点で、工事を受注した業者へそのことを伝え、契約の解除について了解いただけないか協議をした。8月12日付けで契約解除は成立したが、受注業者の方で既に工事に着手するための準備に要した費用が発生しており、その損害賠償請求内容について8

月20日に市へ報告が上がってきたものである。
Q 今後工事費の積算をし直す場合、何か違いは出てくるのか。
A 工事が冬期間になるのですので、それに伴う経費も加わる上、単価改正もあるため、前の設計内容と同じにはならない。
Q 冬の工事に伴う経費が発生するのであれば、補修は今年度にとどめられないで来年4月以降にすればよいのではないか。
A 未発注のまま繰越手続きを行うことも考えられなくはないが、国の補助事業なので、繰越

手続きについては県との協議が必要となる。繰越額を把握した上で県と協議できるよう12月前には発注したいと考えている。
●請願「静町上小屋幹線」道路拡幅について。
 冬期間においては、現在利用されている市道が積雪のため狭くなり通行できない場合があるなど、交通に不便をきたしており、請願提出者の声は十分に理解できるとの理由から願意妥当の意見があり、採択すべきものと決定された。



改修が待たれる碓大橋

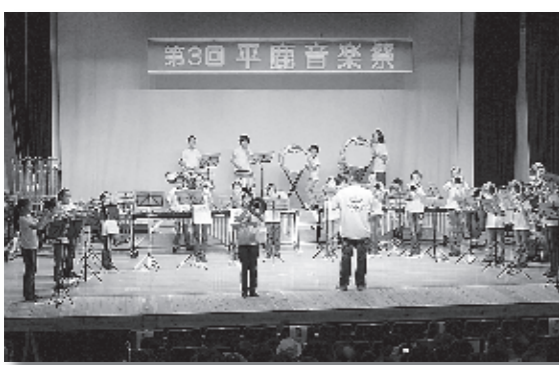
総務文教

常任委員会

Q 県との機能合体推進事業における財政負担はどのような取り決めになっているか。
A 基本協定により、それぞれの庁舎を改修する場合、応分の負担をすることになっているが、経費が確定した段階で、おのおの同じ額を負担することになる。これとは別にシステムの構築や移転にかかる費用は、それぞれが負担する。また、現在のところ、今回の建設部の機能合体で一段落するものと考えている。
Q 楽器購入費を計上した経緯について。

A 本来授業で使用する楽器を除いて、購入経費は予算措置していないが、楽器購入に充てていただきたいと市外の方から寄付があり、吹奏楽の活動をしている小中学校に、均等割と部員数割で配分した。
●請願25第4号「稲作記念館」を開設することについて。
 趣旨 横手の稲作発祥の地は大鳥柵や金沢柵の遺跡が残っている一帯だと証明されている。この地区の旧中学校校舎を「稲作記念館」として活用することは大きな意義を持つと思われる。

A 「閉校後の校舎は、基本的に解体する方針だが、地域で有効利用したいという考えがあれば対応している。当該地域では決まっていないことや、請願を提出した方々も地域住民と話し合いを持った経緯がないことなど、まだ環境が整っていないと思われる。地域の皆さんと協議をして、地域の声を十分にくみ上げてから再度対応をお願いしたい」との意見があった。(播磨 博一)



平鹿音楽祭で演奏する吉田小スクールバンド



分科会報告

決算特別委員会

厚生分科会

Q 一人暮らし高齢者の雪下ろし支援事業の助成方法の課題は解消されたのか。

A 現行の助成方法は、市が雪下ろし費用を全額業者に支払い、その後利用世帯に対して助成額を除いた額を請求するシステムとなっている。

市が利用世帯に請求するのは作業終了から1カ月近く後になるため、利用世帯は市からの請求が届くまで料金がわからず、想定よりも高額であったときの苦情等が市に寄せられている。利用世帯と業者との接点が少ないことが問題である。利用世帯が業者に全額を支払い、その後市が利用世帯に助成額を支払うシステムへの見直しを検討している。

Q メンタルヘルスサポーターの養成と活動について。

A 24年度は35人が養成講座を受講し、今年度は西部・南部・東部と3ブロックに分けて講座を開催し74人が受講を終了している。活動としては、悩んでい

る人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守りながら心の支えになっていく、たぐりとなる。

Q 介護相談員の活動状況について。

A 現在、非常勤職員2人、ボランティア3人の計5人で活動している。活動内容は、介護保険事業所を訪問し、利用者からの相談等に応じることが主となっている。今年度は、介護保険事業所が増加している現状もあり、3人増員し、訪問する事業所を広げていきたい。

(土田 百(百子))



高齢者世帯の除雪ボランティア

産業経済分科会

Q 認定第1号、「平成24年度横手市一般会計歳入歳出決算の認定について」。

A この事業では2人を雇用。武将隊として活動し、各地の物産展で後三年合戦をPRした。美郷町と連携して平泉源流プロジェクトを実施しコミュニティFMラジオで放送する等、後三年合戦について埋もれていた部分に光を当てることができた。

Q 6款農林水産業費では、「産地収益力向上事業の効果と、農業産出額5%増加目標について」。

A 平成22年度からの豪雪により、果樹栽培が甚大な被害を受けたことなどから、果樹を含めた産出額5%増加の目標は厳しい。ただ夢プラン等の諸事業を展開してきたこともあり、産出額低下を食い止めた。

果樹放任園解消事業は、24年度に115アール実施されている。

る。補助率の高い事業であり、説明会を開催し事業告知に努めてきたが、事業主体の自己負担が6分の1程度あり利用が少なかつた。

Q 7款商工費では、「企業誘致活動について」。

(高橋 勝義)



後三年合戦をPRする「清原紅蓮隊」

建設分科会

Q 十文字地域の西下中の村線の拡幅事業について、進捗と見通しは。

A 用地の一部が確保できなかったため、昨年度から事業を中断している。現在は、当初予定していたルートへの反対側を拡幅する方向で検討を行っている。地権者から用地の協力が得られれば建設に着手したい。

Q 水道事業会計で流動負債が26億円増加したことと見通しについて伺う。

A 一番の要因は大沢第二浄水場の建設事業にある。現存の上内町浄水場を廃止すれば、多額の除却費用が発生し、平成25年度は赤字となるが、特別な要因がなければ十分対応できると考えている。

Q 下水道の汚水処理原価が使用料単価を上回っているが、どう解消していくのか。

A 当面は水洗化率の向上と長寿命化による施設の維持により、汚水処理原価と使用料単価の差を埋めていきたい。赤字を計上



建設中の大沢第二浄水場

している。利用者に経営状況を説明し、理解を得ながら使用料の改正を含め検討をしていかなければならない。

Q 下水道事業において、使用料単価と水洗化率は逆比例すると思われるが、どのようにして水洗化率を上げていくのか。

A 水洗化促進のため、これまでは3カ月間の使用料を免除する下水道キャンペーンや、未加入者への戸別訪問を行った。戸別訪問については加入の実績も上がってきているので、来年度もこれを継続し、下水道を使っていたり、下水道の重要性を訴えながら水洗化率を向上させていきたい。

総務文教分科会

Q デマンド交通を含めた地域公共交通の検討状況について。

A 現在、デマンド交通では中心市街地ゾーンへの直接乗り入れができない状況となっているが、主要な病院への乗り入れについて、バス事業者に随時申し入れを行ってきた。この後も調査、協議を進めていきたい。また、10月からはデマンド交通を本格運行するが、乗り入れができない区域にはバス事業者による循環バスが運行される。

Q 緊急告知ラジオを配付した効果と課題について。

A 配付によって防災無線や個別に情報が伝わるシステム等に加え複数の情報入手手段が整備された。しかし、例えば断水が発生したとき等、限定した地域への情報提供が必要な場合もあるので、その際にもラジオを活用できるように検討していきたい。

Q 要保護・準要保護就学援助の周知と利用状況について。

A 全児童生徒を通じてお知らせと申込書を送付するとともに、

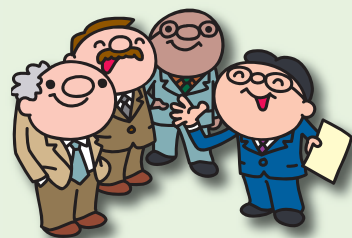


循環バスのりばに設置される表示

市報でもお知らせしている。制度を利用したい方には申請していただき、費用が保護者の口座に振り込まれることになる。

Q 軽自動車の不納欠損の状況について。

A 廃車等の手続きをしていないために課税され、納められていないという事例がある。その解消のため長期滞納されている車両106台について戸別訪問し、40台について新たな滞納の発生の防止につながった。今後とも対象となる所有者に指導・確認をしていく。(青山 豊)



8月に友好都市を訪問



改修中の「あつぎ元気館（仮称）」を視察

厚木市

8月3～4日の2日間の日程で議会訪問団一行8名が厚木市を訪問し、交流を深めてきました。昭和60年の友好都市締結以来、夏は厚木市の「鮎まつり」に、冬は横手市の「かまくら」にそれぞれの議会が訪れ、相互交流を続けています。

今回は、市中心部の空きビルを市が購入して改修中の交流拠点施設「あつぎ元気館（仮称）」を視察。地下1階やイベント広場に、横手市など友好都市のアンテナショップを開設する予定との説明を受け、大変ありがたいお話であり、ぜひにとお願いしてきました。長年の交流が身を結びつつあり、感動の訪問となりました。（佐藤 清春）

那珂市

友好都市那珂市へは、那珂市の花「ひまわりフェスティバル」が行われる、8月24日、25日に訪問しました。毎年、那珂総合運動公園で開催され、約4haの会場周辺は25万本の鮮やかな黄色のひまわりで埋めつくされ、家族連れや写真愛好家の方々に大にぎわいでした。屋台もたくさんあり、「横手やきそば」も出店し好評でした。

那珂市には、世界でも有数の「日本原子力研究開発機構・那珂核融合研究所」が有り、`地上に太陽を、`ということで日夜研究しています。安全な究極のエネルギーです。一行は市長、議長、市民と意見交換し有意義な訪問でした。（高橋 勝義）



「なかひまわりフェスティバル」で横手市をPR



◇議会広報委員会◇

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 青山 豊 |
| 副委員長 | 高橋 聖悟 |
| 委員 | 土田百合子 |
| | 立身万千子 |
| | 小野 正伸 |
| | 佐々木 誠 |
| | 播磨 博一 |
| | 高橋 勝義 |

4年間、「広報からの議会改革」を掲げ、議会だよりをはじめ、横手かまくらFMでの情報提供番組、ホームページの改訂と着実に歩を進めてまいりました。

しかしながら、「議会」というチームとしての情報発信に対する共有意識が醸成されていないのは隠しようのない現実。まだまだ道半ばであります。

それでも、「市民の皆様により信頼される議会」を目指して議会広報委員一同、力を合わせて情報発信に取り組んでまいりました。ある程度、道筋をつける事ができた、と自負しております。

改選期を迎え、次号からは新しい顔ぶれとなりますが、引き続きご愛顧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。（青山 豊）

編集後記

